

1) システムの名称：

カルテ記載システム C-Note（シーノート）

2) 対象業務、電子カルテシステム内での位置付け：

1. 電子カルテ・所見記述系

3) 特色：

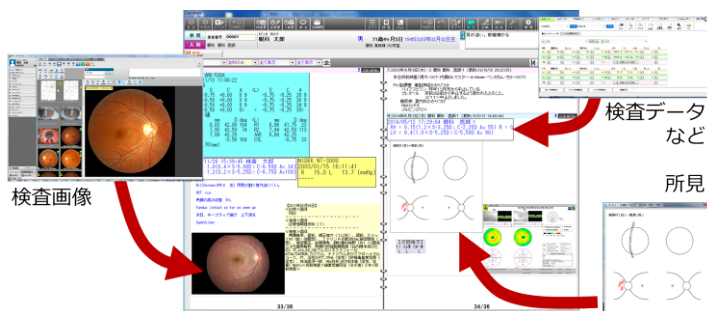
カルテ記載システム C-Note は、電子カルテのテンプレート機能だけでは十分なカルテ記載が難しい診療科におけるカルテ記載の問題を解決するシステムです。特に、眼科・耳鼻咽喉科・産科といった自科検査の多い診療科においては、紙カルテイメージで自由に画像・数値・文字列等を配置しストレスなく診療記事を記載することができます。

4) 画面／構成図を含めた分かりやすい説明：

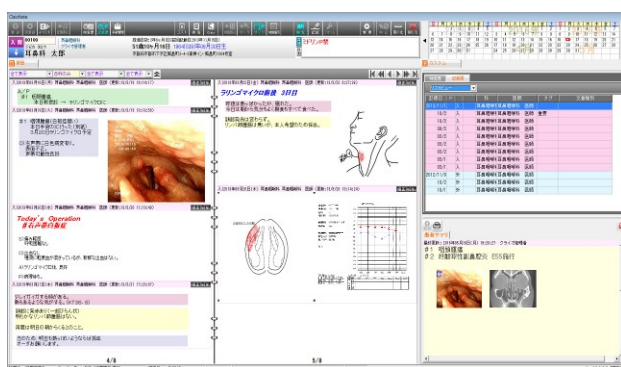
■紙カルテのイメージそのままの自由な記載

固定されたエリアにテキスト入力を行う一般的な電子カルテの記事記載ではなく、2号紙のイメージで記載が行えます。テキストでの所見入力はもちろん、検査結果の自動取り込み、画像やシェーマ貼り付け、ペンタブレットを利用した記事自体への手書きなど、自由な記載が可能です。

カルテ記事は紙のページをめくるイメージで閲覧でき、C-Scan 連動により紙カルテを自動的に取り込むことも可能。紙カルテからの移行や紙記載を続ける医師との混在運用にも柔軟に対応します。



■眼科・耳鼻科・産婦人科など各診療科に特化した機能



眼科・耳鼻科

科内検査の多い眼科や耳鼻科では、次回指示機能により受付時に診察前検査を把握。受付票により患者動線を把握・管理することで、受付から検査、診察、次回予約までをスムーズに運用することができます。各科特有の検査データも専用インターフェイスを利用して簡単に入力し、記事への自動取込も行えるので、効率的に記事記載が行えます。

産婦人科

妊婦健診の経過記録やエコー画像から胎児計測を行うなど、産婦人科に特化した機能をご提供。検査データと合わせて画像や診療記事を管理することができます。

■データの二次利用

電子カルテに蓄積された個々のデータに繋がりを持たせ、様々な条件下でデータ抽出できるようになることで、容易に患者の症状経過を把握することができ、質の高い医療サービスの提供が可能になります。

検査数値の経過を時系列で表示

イベント	1/10	3/12	5/23	7/16	10/6
裸眼視力	0.2	0.1	0.5	1.0	1.5
矯正視力	1.0	1.0	1.0	1.2	2.0
眼圧	15.4mmHg	16.8mmHg	15.3mmHg	14.6mmHg	14.3mmHg
角膜内皮数	3100 個	3082 個	3050 個		3120 個
角膜厚	520μm	520μm	500μm		500μm

条件を指定して患者リストを抽出

<条件>1/1~4/30の間で右眼視力が【0.3以上】低下している患者

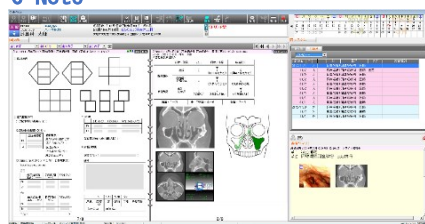
患者番号	患者氏名	生年月日	性別
00125	デモ 太郎	1943/2/15	男
05623	デモ 花子	1963/10/2	女
08654	デモ 次郎	1970/3/23	男
17524	デモ 三郎	1920/4/6	男



■HIS 連携

C-Note では、電子カルテへ記事情報やキー画像をシームレスに連携することで記載の手間を省きます。

C-Note

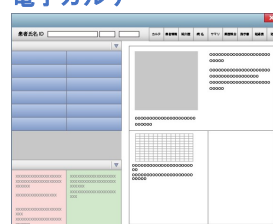


記事情報
キー画像送信



患者・画像指定起動
各種データ連携

電子カルテ

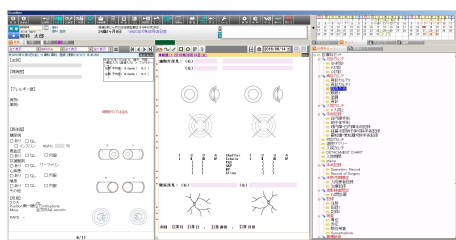


・患者基本情報
・利用者情報
・画像、レポート連携
・受付情報
・入退院情報
・実施コスト情報
など

■多彩な入力支援機能

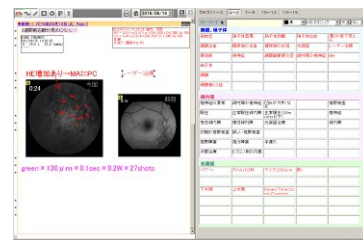
セット機能

紙カルテの書式をテンプレート化し、初診記録や専門外来カルテとして利用できます。



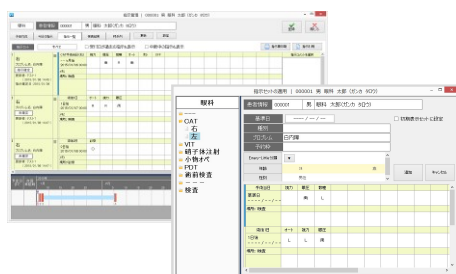
スタンプ機能

よく使う文言をテンプレート登録しておくことで、記事ヘドラッグ&ドロップするだけで入力が行えます。



指示セット

患者毎に検査予定や治療計画を作成し管理できます。医療機関のニーズに合わせた指示セットも作成可能。



進捗管理機能

当日の検査予定を一覧上で確認できます。検査終了時には自動的に終了時刻が反映されるので即座に進捗把握できます。



5) 標準化への対応状況、未達成の場合対応予定および対応のための追加費用の有無：

- ・HL7 形式による患者検索
- ・SS-MIX ストレージ利用範囲：ストレージ作成

6) 動作環境（ソフトの場合）、ハードスペック（ハードの場合）：

■サーバ構成 ※Claioのサブシステムとして利用する場合、Claioと同居する為サーバ構成が変わります。

シングルサーバ構成（※必要に応じてウォームスタンバイ構成、クラスタ構成、仮想環境）

オペレーティングシステム：Windows Server 2019 Std

DBMS：Microsoft SQL Server 2019 Std

CPU：Intel® Xeon® Processor E5-2623 v3 (10M Cache, 4C/3.00 GHz) 以上

メインメモリ：16GB 以上

HDD：1TB(実行容量) 以上

■クライアント構成 ※電子カルテ相乗りを想定の為、推奨スペックを記載

オペレーティングシステム：Windows10

CPU：Intel Pentium プロセッサ 以上

メインメモリ：4GB 以上推奨

画面解像度：SXGA(1280×1024) 以上

7) 稼働までに必要な作業・期間：

病院担当者様および HIS メーカー様と打合せ（2 回程度）・通常 2～4 か月程度

8) 価格（桁数（日本円における桁数）、「ご相談」は不可、桁数帯・金額・金額帯を入れても良い）：

ソフトウェア・導入作業費用：7～8 桁

9) 保守の内容と費用：

■保守内容

対応内容：稼働時初期教育（オペレーション説明、マニュアル配布）、運用開始時立会い

障害発生時の電話サポート、リモート又はオンサイト対応、毎月のログ確認

前提条件：リモート接続可能な保守用 VPN 環境が有る場合

■保守費用

システム規模、保守内容によって異なります。 ※Claio の保守費用に加算

10) 問い合わせ先（販売会社 担当者、URL、e-mail 等）および開発元（もし別途あれば）：

株式会社ファインデックス

<https://findex.co.jp>

事業所：東京本社、四国支社、大阪支店、福岡支店、札幌支店、那覇支店、京都支店、新潟支店

※弊社 HP のお問合せフォーム（医療システム・サービス）をご利用ください。

https://findex.co.jp/inquiry/inq_pro.html